

関東経済産業局による大阪・関西万博での展示参加

- 関東経済産業局は、管内における地域活性化等に向けた優れた取り組みを発信するため、大阪・関西万博にて展示を実施。
- 出展コンセプトは、「地域企業と共に創し、関東の良いモノを、未来社会を担う若者・子どもに紡ぎたい。」
- 身近で分かりやすい「食」をテーマに、「つくる」「たべる」「いかす」をキーワードにした3種類のブースを出展。
- 来場者は、3日間で約9,000人。多数の来場者に関東の優れたモノ・コト・ワザを発信できた。

■ 展示概要

- ・ 日 程：2025年7月21日～23日（3日間）
- ・ 場 所：万博会場 フューチャーライフビレッジ内 TEAM EXPOパビリオン
- ・ テーマ：「食」からのぞく！ 関東のモノ・コト・ワザ

「つくるブース」

“フードテックで「未来の食」をつくる”

最新鋭のフードテックマシンでにぎり寿司をつくるデモを実施し、最新のフードテックの可能性や食のあり方を考える機会を提供。

「たべるブース」

“たべるを「彩る」”

高品質なカトラリーやデザインされた器によって、食材や料理がどれほど美しく引き立つかを感じ、関東の培ってきた技術や伝統的工芸品に触れる機会を提供。

「いかすブース」

“食を「ふたたび」いかす”

食品の端材・廃材等を新たな製品に生まれ変わらせる技術、アップサイクル、資源循環を身近に感じてもらうため、製品等の展示のほか、アップサイクルで生まれた絵具で絵を描くワークショップを実施。

■ 展示の成果と今後の取組

- ・ 事前に3社のメディアが報道。3日間で計8,868人が来場し、関東の優れたモノ・コト・ワザを発信することができた。
- ・ 万博終了後も、展示と連動して掲載したウェブコンテンツ等(note等 約40本)を通じ、地域の魅力を引き続き発信していく。

■ 当日の様子等

▼ブースが賑わう様子



▼つくるブース



▼たべるブース



▼いかすブース



▼ワークショップ



▼note例

関東も共に未来へ
(note サイトへ)

#30 生活の中の漆器:中山道の産地を訪ねて～関東も、共に未来へ#30(木曾…

生活の中の漆器:中山道の産地を訪ねて～関東も、共に未来へ#30(木曾…

関東経済産業局 7日前

10 口



共創いただいた企業・団体等

ブース	所在地	企業・団体名	展示品
つくる	山形県	国立大学法人山形大学	3D フードプリンター
たべる	茨城県	KeiCondo	笠間焼の皿
	栃木県	有限会社陶庫	益子焼の茶碗
	栃木県	星野工業株式会社	栃木県鹿沼市の桧ビアタンブラー
	群馬県	有限会社井清織物	桐生織のファブリックスタンド
	群馬県	森秀織物株式会社	桐生織のランチョンマット
	埼玉県	錫光	埼玉県川口市の錫酒器
	埼玉県	滝澤酒造株式会社	埼玉県深谷市のスパークリング日本酒
	埼玉県	株式会社協同商事	埼玉県川越市のクラフトビール
	千葉県	菅原工芸硝子株式会社	江戸硝子の小鉢
	東京都	木本硝子株式会社	江戸切子の酒器
	東京都	株式会社江戸切子の店華硝	江戸切子のワイングラス
	神奈川県	株式会社露木木工所	箱根寄木細工の箸置き
	新潟県	山崎金属工業株式会社	新潟県燕市のカトラリー
	新潟県	尾畠酒造株式会社	新潟県佐渡市の日本酒
	新潟県	新潟漆器株式会社	新潟漆器の皿
	長野県	木曽漆器工業協同組合	木曽漆器の箸、お椀
	長野県	有限会社丸嘉小坂漆器店	木曽漆器のプレート
	山梨県	株式会社詫間宝石彫刻	甲州水晶貴石細工のグラス
	静岡県	有限会社みやび行燈製作所	駿河竹千筋細工の菓子器
いかす	埼玉県	ASTRA FOOD PLAN株式会社	野菜の端材をアップサイクルしたパウダー「ぐるりこ」
	神奈川県	日本理化学工業株式会社	ホタテ貝殻をアップサイクルした「ダストレスチョーク」と米ぬかをアップサイクルした絵具「キットパス」